

土壤診断採土場所一覽



土 壌 診 断 カ ー ド

No.: 1
分析日 2025/07/18

深谷市農業振興課 様

採 土 場 所	栽培形式	対 象 作 物
1	花卉	花

分析結果概要 * 沖積土壌として判定しました。

診断項目	(改良目標値) 分析値	
p H (H2O)	(6.00~6.50) 6.30	
電気伝導度 (EC)	(0.00~0.30) 0.13 mS/cm	
石灰 (CaO)	(280 ~ 460) 340 mg/100g	
苦土 (MgO)	(40 ~ 70) 75 mg/100g	
加里 (K2O)	(30 ~ 50) 72 mg/100g	
トルオーグ 磷酸	(20 ~ 40) 44 mg/100g	
CEC (推定)	(10 ~ 25) 20 me	
塩基飽和度 (%)	(71 ~ 86) 85 %	
石灰/苦土比 (重)	(7 ~ 10) 4.5	
苦土/加里比 (重)	(1 ~ 2) 1.0	

塩基類(石灰・苦土・加里)の適正値は、推定CECの値から計算しています。。

土壌改良のポイント(10a当り)

改良資材銘柄	施用量(袋)
消石灰 7 2 %	1.3袋

※作土深10cmを改良するための施用量を記載しています。
石灰/苦土比が小さいので苦土を含まない資材を使いましょう。

総合所見

☆☆☆土づくりに完熟堆厩肥を投入しましょう☆☆☆ 例 フトール1号 15~20袋/10a
JAグループは生産履歴記帳運動を推進しています。全ての作物で履歴を記帳して下さい。

土 壌 診 断 カ ー ド

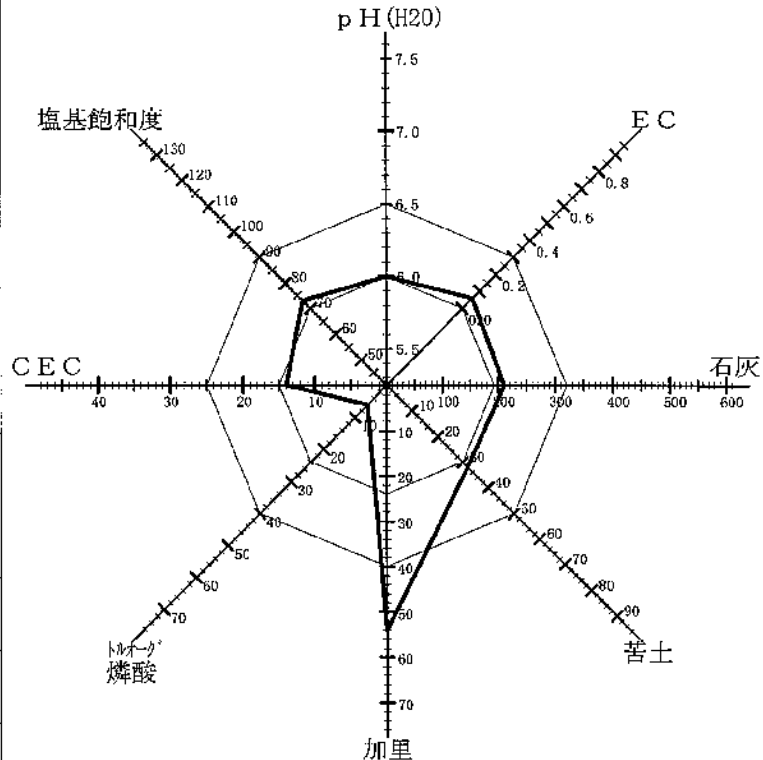
No.: 2
分析日 2025/07/18

深谷市農業振興課 様

採 土 場 所	栽培形式	対 象 作 物
2	花卉	花

分析結果概要 * 沖積土壌として判定しました。

診断項目	(改良目標値) 分析値	
p H (H2O)	(6.00~6.50) 6.00	
電気伝導度 (EC)	(0.00~0.30) 0.06 mS/cm	
石灰 (CaO)	(190 ~ 320) 210 mg/100g	
苦土 (MgO)	(30 ~ 50) 32 mg/100g	
加里 (K2O)	(25 ~ 40) 54 mg/100g	
トルオーグ 磷酸	(20 ~ 40) 6 mg/100g	
C E C (推定)	(10 ~ 25) 14 me	
塩基飽和度 (%)	(71 ~ 86) 73 %	
石灰/苦土比(重)	(7 ~ 10) 6.6	
苦土/加里比(重)	(1 ~ 2) 0.6	



塩基類(石灰・苦土・加里)の適正値は、推定 C E C の値から計算しています。。

土壌改良のポイント(10a当り)

改良資材銘柄	施用量(袋)
粒状ヨーリン	0.7袋
重過石(粒)	3.4袋

※作土深10cmを改良するための施用量を記載しています。
 磷酸を含むアルカリ資材で酸度を矯正します。
 磷酸分が少ないので磷酸質資材を施用しましょう。

総合所見

☆☆☆土づくりに完熟堆厩肥を投入しましょう☆☆☆ 例 フトール1号 15~20袋/10a
 J Aグループは生産履歴記帳運動を推進しています。全ての作物で履歴を記帳して下さい。

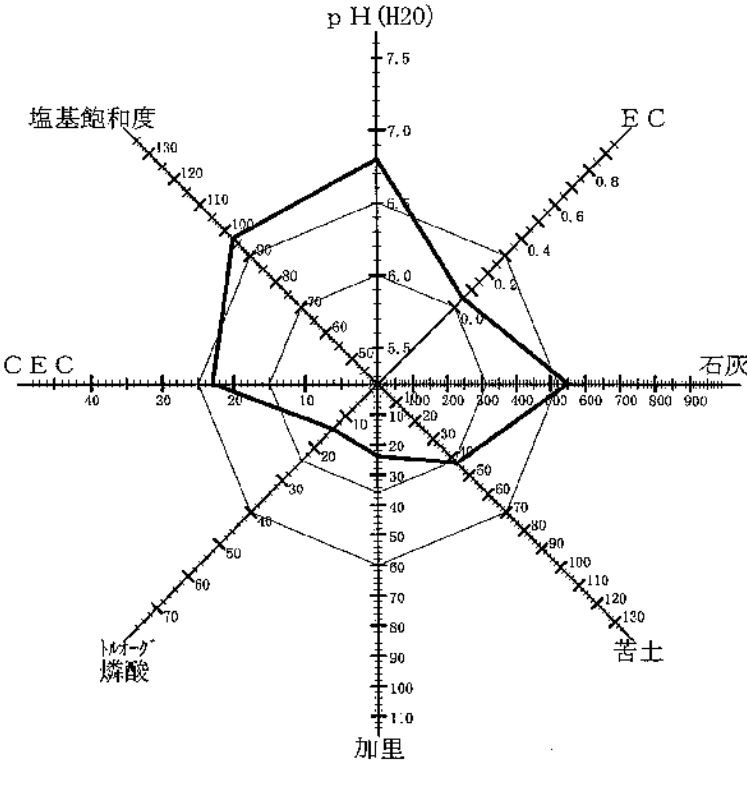
土 壌 診 断 カ ー ド

No.: 3
分析日 2025/07/18

深谷市農業振興課 様

採 土 場 所	栽培形式	対 象 作 物
3	花卉	花

分析結果概要 * 沖積土壌として判定しました。

診断項目	(改良目標値) 分析値	
p H (H2O)	(6.00~6.50) 6.80	
電気伝導度 (EC)	(0.00~0.30) 0.05 mS/cm	
石灰 (CaO)	(310 ~ 520) 550 mg/100g	
苦土 (MgO)	(40 ~ 70) 43 mg/100g	
加里 (K2O)	(35 ~ 60) 24 mg/100g	
トルオーグ 燐酸	(20 ~ 40) 14 mg/100g	
C E C (推定)	(10 ~ 25) 23 me	
塩基飽和度 (%)	(71 ~ 86) 97 %	
石灰/苦土比(重)	(7 ~ 10) 12.8	
苦土/加里比(重)	(1 ~ 2) 1.8	

塩基類(石灰・苦土・加里)の適正値は、推定 C E C の値から計算しています。。

土壌改良のポイント(10a当り)

改良資材銘柄	施用量(袋)
重過石(粒)	1.8袋

※作土深10cmを改良するための施用量を記載しています。
燐酸分が少ないので燐酸質資材を施用しましょう。

総合所見

☆☆☆土づくりに完熟堆厩肥を投入しましょう☆☆☆ 例 フトール1号 15~20袋/10a
J Aグループは生産履歴記帳運動を推進しています。全ての作物で履歴を記帳して下さい。

土 壌 診 断 カ ー ド

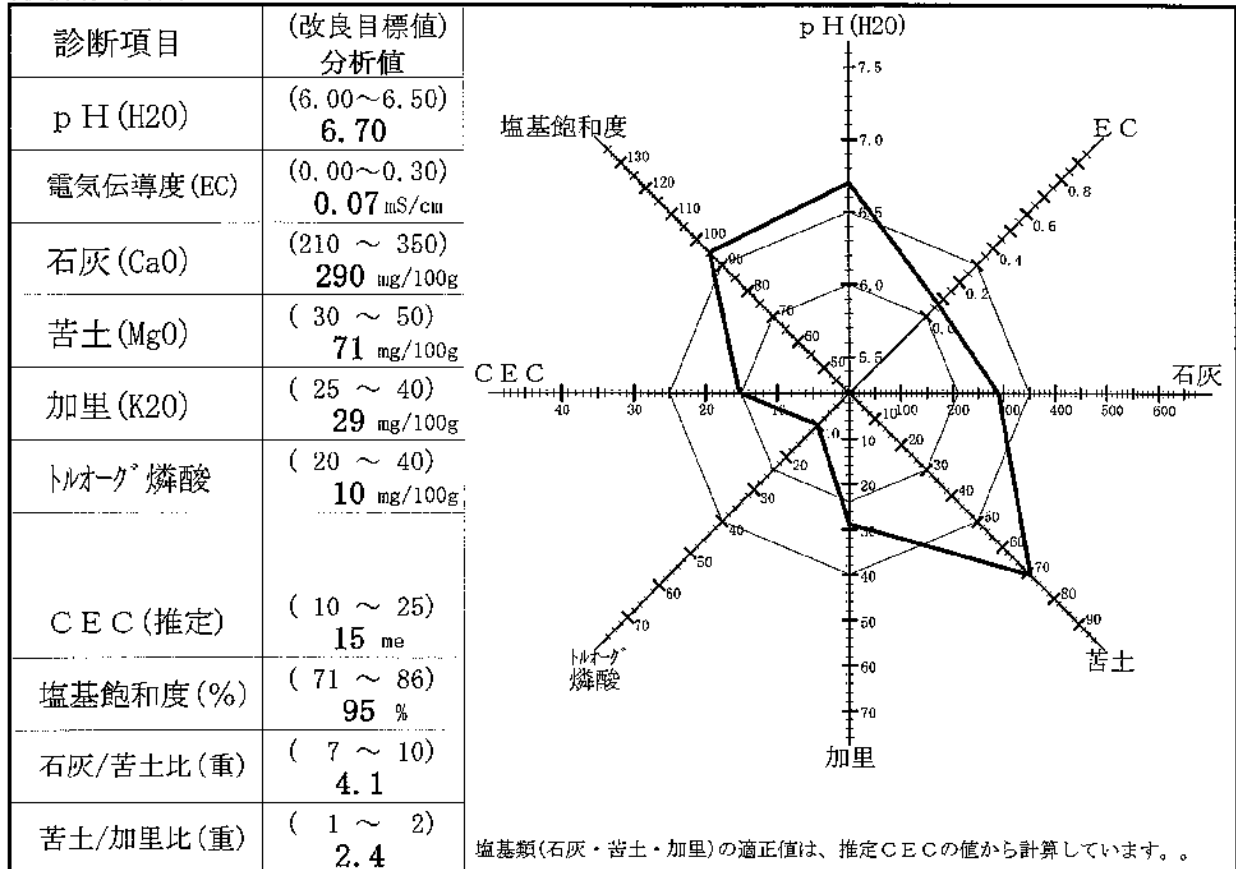
No.: 4
分析日 2025/07/18

深谷市農業振興課 様

採 土 場 所	栽培形式	対 象 作 物
4	花卉	花

分析結果概要

* 沖積土壌として判定しました。



土壌改良のポイント(10a当り)

改良資材銘柄	施用量(袋)
重過石(粒)	2.9袋

※作土深10cmを改良するための施用量を記載しています。
燐酸分が少ないので燐酸質資材を施用しましょう。

総合所見

☆☆☆土づくりに完熟堆厩肥を投入しましょう☆☆☆ 例 フトール1号 15~20袋/10a
JAグループは生産履歴記帳運動を推進しています。全ての作物で履歴を記帳して下さい。

土 壌 診 断 カ ー ド

No.: 5
分析日 2025/07/18

深谷市農業振興課 様

採 土 場 所	栽培形式	対 象 作 物
5	花卉	花

分析結果概要 * 沖積土壌として判定しました。

診断項目	(改良目標値) 分析値	
p H (H2O)	(6.00~6.50) 6.60	
電気伝導度 (EC)	(0.00~0.30) 0.07 mS/cm	
石灰 (CaO)	(190 ~ 320) 280 mg/100g	
苦土 (MgO)	(30 ~ 50) 33 mg/100g	
加里 (K2O)	(25 ~ 40) 65 mg/100g	
トルオーグ 磷酸	(20 ~ 40) 9 mg/100g	
C E C (推定)	(10 ~ 25) 14 me	
塩基飽和度 (%)	(71 ~ 86) 92 %	
石灰/苦土比(重)	(7 ~ 10) 8.5	塩基類(石灰・苦土・加里)の適正值は、推定 C E C の値から計算しています。
苦土/加里比(重)	(1 ~ 2) 0.5	

土壌改良のポイント(10a当り)

改良資材銘柄	施用量(袋)
重過石(粒)	3.2袋

※作土深10cmを改良するための施用量を記載しています。
磷酸分が少ないので磷酸質資材を施用しましょう。

総合所見

☆☆☆土づくりに完熟堆厩肥を投入しましょう☆☆☆ 例 フトール1号 15~20袋/10a
J Aグループは生産履歴記帳運動を推進しています。全ての作物で履歴を記帳して下さい。

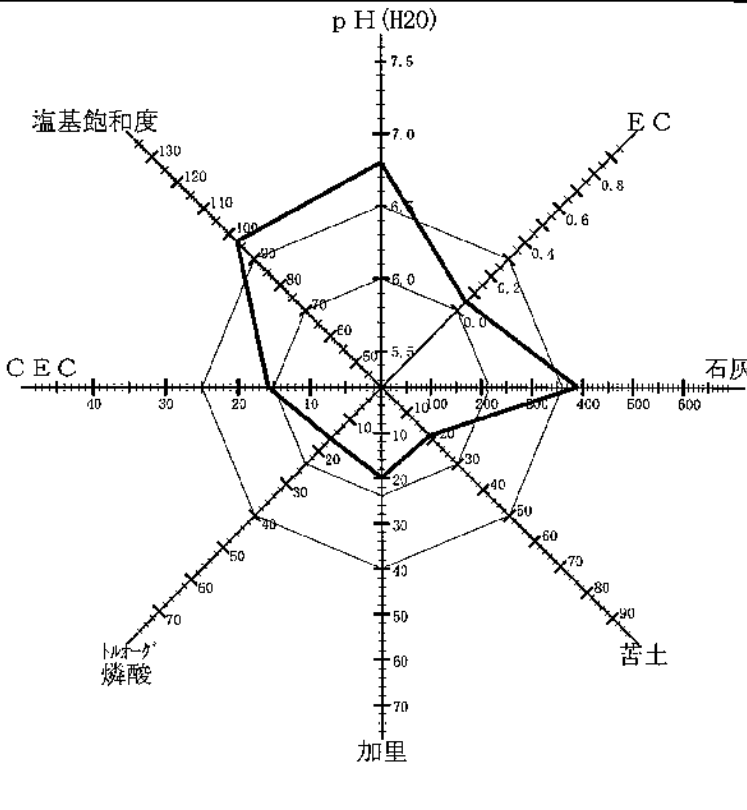
土 壌 診 断 カ ー ド

No.: 6
分析日 2025/07/18

深谷市農業振興課 様

採 土 場 所	栽培形式	対 象 作 物
6	花卉	花

分析結果概要 * 沖積土壌として判定しました。

診断項目	(改良目標値) 分析値	
p H (H2O)	(6.00~6.50) 6.80	
電気伝導度 (EC)	(0.00~0.30) 0.05 mS/cm	
石灰 (CaO)	(220 ~ 360) 390 mg/100g	
苦土 (MgO)	(30 ~ 50) 19 mg/100g	
加里 (K2O)	(25 ~ 40) 20 mg/100g	
トルオーグ 磷酸	(20 ~ 40) 16 mg/100g	
CEC (推定)	(10 ~ 25) 16 me	
塩基飽和度 (%)	(71 ~ 86) 97 %	
石灰/苦土比重	(7 ~ 10) 20.5	塩基類(石灰・苦土・加里)の適正値は、推定CECの値から計算しています。
苦土/加里比重	(1 ~ 2) 1.0	

土壌改良のポイント(10a当り)

改良資材銘柄	施用量(袋)
重過石(粒)	1.2袋
サルポマグ	8.6袋

※作土深10cmを改良するための施用量を記載しています。
 磷酸分が少ないので磷酸質資材を施用しましょう。
 苦土・加里資材で石灰・苦土・加里のバランスを直しましょう。

総合所見

☆☆☆土づくりに完熟堆厩肥を投入しましょう☆☆☆ 例 フトール1号 15~20袋/10a
 JAグループは生産履歴記帳運動を推進しています。全ての作物で履歴を記帳して下さい。

土壌診断項目の説明

1. 酸度 (pH)

私達が体温を測って健康状態を知ると同様に、土の健康状態は酸度によって知ることができます。酸度が適正でないと作物は、たとえ養分が十分に存在していても調和のとれた養分吸収ができず、生育は不良となります。(図1)

従って、作物に適した酸度に矯正することが土壌改良の基本となります。

※ みかけの酸度 (pH)

ハウス等のEC値の高い土壌においては、EC値が高くなるにつれてpH値が低く測定されます。これは、土壌中の硝酸態チッソ等陰イオンの影響を受けることによります。従って、pH値の診断については、EC値を考慮して行っています。

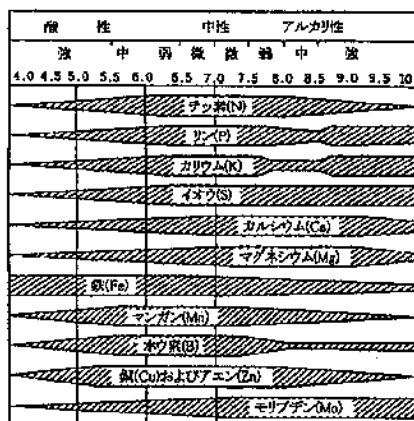


図1 土壌の反応 (pH) と作物養分の溶解・利用度

表1 ECによる元肥施用の目安

電気伝導度	元 肥 量
0 ~ 0.3	標準量
0.3 ~ 0.6	" の約8割
0.6 ~ 0.9	" の約6割
0.9 ~ 1.2	" の約4割
1.2 ~ 1.5	" の約2割
1.5 ~ 1.8	無施用
1.8以上	対策の必要あり

〈単位〉mS/cm (ミリ、ジーメンズ)

2. 電気伝導度 (EC)

土壌中の残存肥料（塩類）の指標となります。ハウスなどでは、地表面に塩類が集積し易く、この量が多くなると、作物は濃度障害やガス障害を受けます。また硝酸態チッソと相関が高いため元肥施用の目安になります。(表1)

3. 交換性塩基（石灰・苦土・加里）とそのバランス

土壌粒子の表面は、マイナスの電気を帯びており、土壌中でプラスの電気を帯びている石灰・苦土・加里を磁石のように吸着します。(図2)

これら、塩基相互間にはバランスがあり、その比率が保たれないと、各種生理障害（欠乏症）を引き起こす恐れがあります。

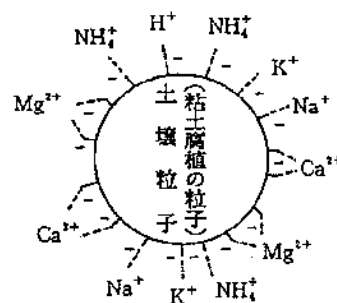


図2 土壌粒子と交換性塩基の関係

4. 有効態リン酸

リン酸は、土壌中で固定されやすく、極めて利用率の低い養分です。有効態リン酸とは、作物に利用され得ることのできる活性リン酸です。土壌中に固定された不活性リン酸も、腐植等の働きによって活性リン酸になることができます。

5. 分析数値と土壌改良法

- ・分析単位 (mg/100g) は、そのまま (kg/10a) に読み変えられます。ただし火山灰土については仮比重が小さい (0.6 ~ 0.8) ので、これに準じて数値は小さくなります。
- ・酸度矯正における石灰質資材の施用量は、10a当たりの耕土10cmまでを改良するための必要量を計算してあります。

